

第1章 計画の目的・構成

1. 計画策定の背景と目的

北谷町は、沖縄本島中部の西海岸に位置する面積 13.78 km²（平成 22 年 10 月現在、国土地理院）、人口 27,264 人（平成 22 年国勢調査）の町です。

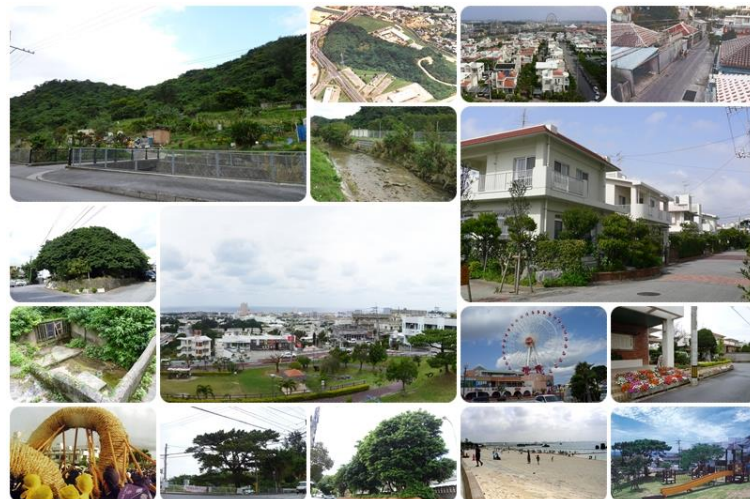
町西側の約 5.6km にわたる沿岸域には美しいサンゴ礁が生息し、ダイビングをはじめとするマリンスポーツが楽しめるとともに、広域的な商業・レクリエーションゾーンが形成されるなどの魅力を備えています。また、本町を含む本島中部には米軍施設が集中していることから、アメリカ文化の影響を受けた独特の文化が形成され、国際性豊かな町となっています。加えて、斜面地などに残る自然性の高い緑地や各地域に存する拝所・湧水、住民等との協働のもとで質の高い景観を形成している市街地など、地域ごとに育まれてきた「地域の良さ = 豊かな資源」が数多くあり、地域の誇りや個性の基盤となっています。

一方で、近年、主としてアメリカンビレッジなど西海岸の魅力と活力の向上を要因として町内全域で新規開発の動向が活発化しつつあります。これらの開発は、ややもすると「地域個性の維持・継承・発展」と不協調となりがちな点が懸念されます。

本町では、これまで総合計画や都市計画マスタープランのもと各種施策を展開する中で、魅力ある都市景観の形成に努めてきました。しかしながら、近年の町内の動向等を踏まえ、景観に関するより総合的かつ実効性のある展開を図ることが求められています。

そうした中、平成 16 年 6 月に景観に関する総合的な法律（景観法）が制定されたことで、市町村等が地域の特性を活かした良好な景観形成を推進していく環境が整えられました。

こうした背景を受け、本町では平成 24 年 5 月に、景観法に基づく景観行政団体となりました。このため、町民との協働のもと主体的な景観行政に取り組むことで、本町の美しい景観を守り・育て・創出し、次世代へと継承し、『ニライの都市』の実現に寄与することを目的に、景観法に基づく「北谷町景観計画」を策定します。

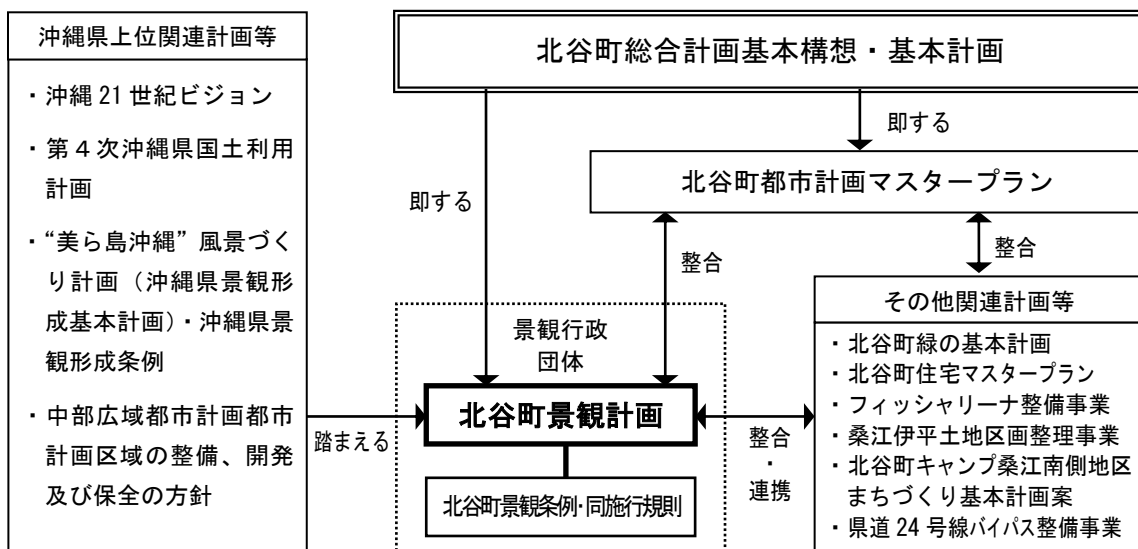


2. 景観計画の位置づけ・期間

(1) 計画の位置づけ

北谷町景観計画は、北谷町の景観に関する施策を総合的かつ体系的に示すもので、北谷町総合計画基本構想・基本計画に即し、北谷町都市計画マスタープランや北谷町緑の基本計画など町の関連計画等との整合・連携を図るとともに、沖縄県の上位関連計画等を踏まえつつ策定するものです。

■ 計画の位置づけ



(2) 計画期間

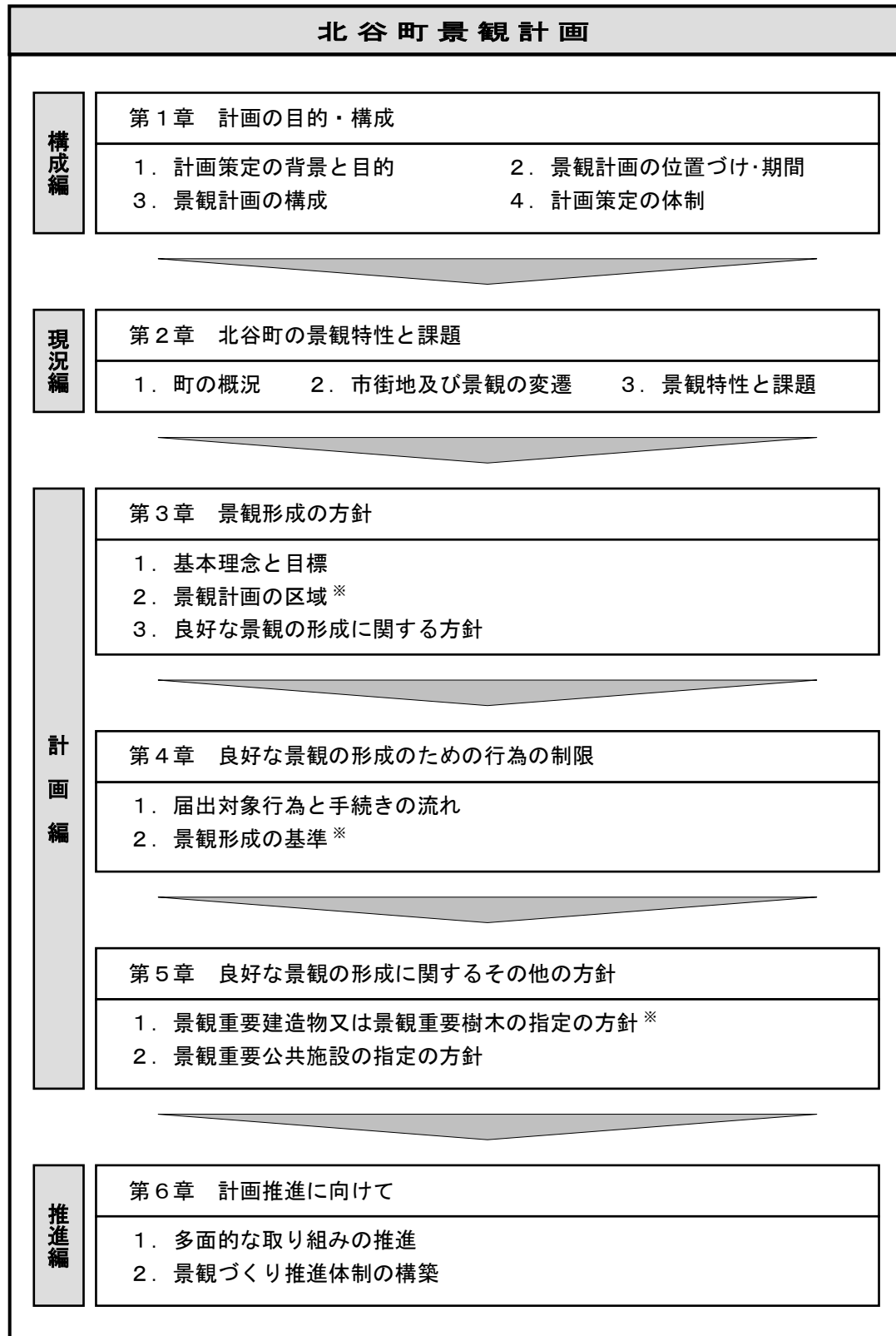
本計画は、平成25年度から平成29年度までの5年間とします。

なお、計画期間中であっても、社会経済情勢の変化や上位・関連計画の見直し等にあわせ、必要に応じて見直しを行うとともに、成長型の計画として、景観形成への取り組みを通じて内容を充実していくこととします。

3. 景観計画の構成

北谷町景観計画は、以下の6章で構成します。

■ 計画の構成

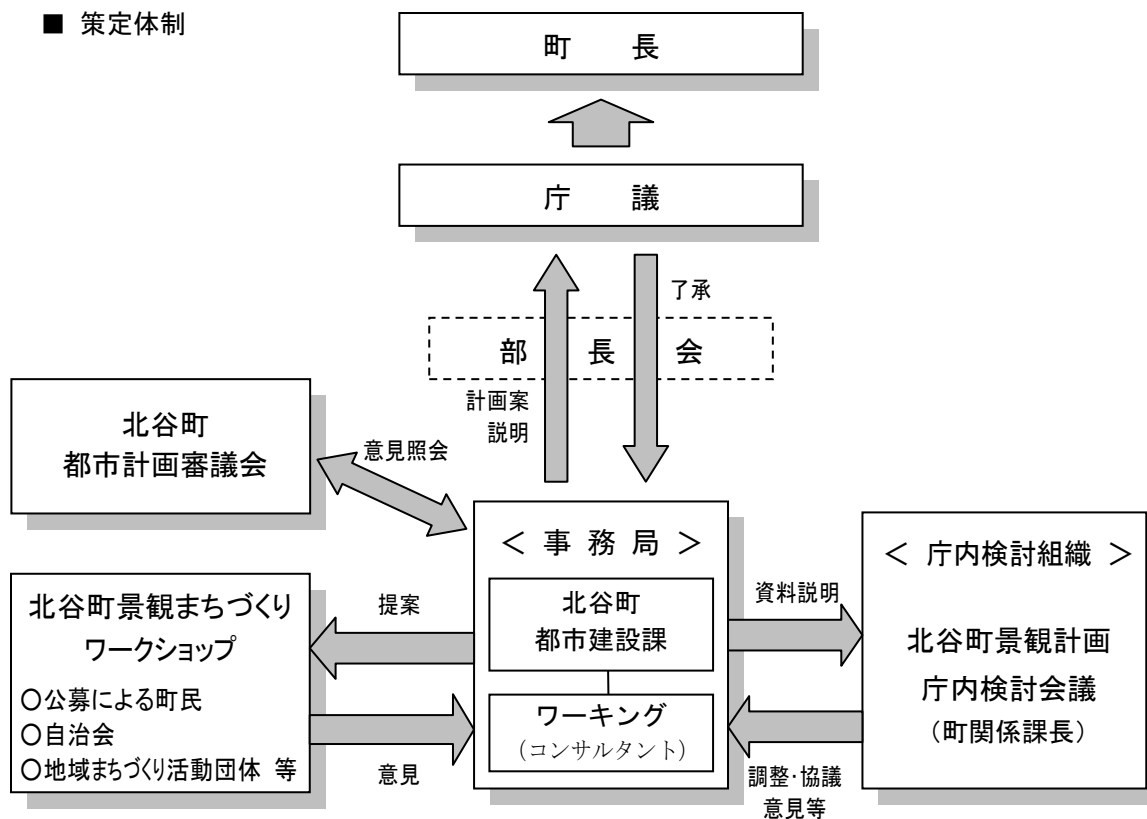


※ 景観法第8条第2項に規定する必須事項。

4. 計画策定の体制

計画策定の体制は以下の通りです。

■ 策定体制



土部第2514号
平成24年3月27日

北谷町長 野国 昌春 殿
沖繩県知事 仲井眞 弘多

景観行政団体協議書

平成24年3月8日付け北部第23第8702号で申出のあった協議について、景観法（平成16年法律第110号）第98条第2項の規定により、貴町が景観行政事務を処理することに異存ない旨回答する。
今後は、景観行政団体として、地域住民の意向を踏まえ、地域の個性及び特色の伸長に資する良好かつ多様な景観の形成に取り組まれることを期待する。

北谷町告示第35号

景観法（平成16年法律第110号）第98条第3項の規定により告示する。

平成24年3月30日

北谷町長 野国 昌春

1 景観行政団体となる趣旨
本町は、東シナ海に沿った海浜部は平坦な低地で、中央部から東部にかけての内陸部は全体的に緩やかな丘陵地となっており、各々の地域ごとに育まれてきた「地域の良さ＝豊かな資源」が数多くあり、まちの魅力や活力、地域の誇りや個性の基盤となっている。
本町の魅力と活力が増す中で、先人達から脈々と受け継がれてきた自然や歴史・文化を基盤に、日々の生活の中でつくりあげられてきた独自の地域性、地域らしさを活かした北谷らしい良好な景観の保全と育成、そしてより良い形での後世への継承を目指すことで実現する理想郷「ニライの都市」を町民、事業者及び行政が協力して創造していくために、次の期日から景観法第98条第1項の規定に基づき景観行政団体となり、景観行政事務の処理を開始する。

2 景観行政事務の処理を開始する日
平成24年5月1日

景観行政団体交付式の様子
(平成24年3月27日 沖繩県庁)